

〔問9〕フラッシュカードや漢字の絵本など、普通に興味を持ってやっている子どもはいいのですが、まるで興味のない子どもには、いろいろとやり方を変えているのですがなかなか読めません。どうしたら良いでしょうか。

〔答〕興味を示さないというのは出来ないからだと思います。他に原因があるのでしたらその原因を探らなければいけません。私の考えでは、出来ないからおもしろくない、それでそっぽをむいてしまうのだと思います。運動会の徒競走などを思いだしていただきたいのですが、競り合っている時には余り差が出ませんが、少し差がついて、とてもかなわないと思ったとたんに、ぐんと差が開いてしまいます。なぜかと言うと、この競り合いに自分は勝てないと思ったらそれでおしまい、力が半減してしまうのです。ですから勝負がつくのはちょっとした気持ちの持ち方ひとつで、最終ゴールの時の開いた差だけの差があるわけではなく、ほんの少しのことでこうなるわけですから、子供にあきらめさせたり、「自分は駄目だ」などと思わせることが興味を失わせる原因なのです。できない子には誰も知らないようなことを内証で教え

ておいて、みんなの前でそれを披露させるということをする、俄然やる気を出すことがあります。これは私が小学校一年生で実験して成功しました。一たん自信がつくとやるようになりますし、やるようになれば出来るようになりますので、得意にならせるということが大切です。

〔問10〕当用漢字になく普段使われないような字でも、漢字で書けるものは書いた方がよいのでしょうか。

〔答〕当用漢字とか使われない字であるとかをあまり気にせずに、漢字で表現できるものはどんどん漢字で書いて下さい。

どんな言葉も子供にとっては漢字の方がわかり易いのです。なぜかと言うと一文字でまとまりがついて、その特有の形をもっているからなのです。人間の顔でも同じことで、全て同じ顔だったらとても覚えられないのですが、みんなそれぞれ違う顔をしているから覚えられます。複雑な顔ほど印象に残り、覚え易いものです。漢字で書けるものは全て漢字で書いてやって下さい。仮名の方が易しいというのは今までの誤った固定観念です。